

JR-West's
Business Report
— 株主の皆様へ —

第34期 中間事業報告

2020年4月1日 ▶▶ 2020年9月30日



西日本旅客鉄道株式会社

証券コード：9021

株主の皆様へ

平素は、JR西日本グループの事業運営にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2005年4月25日に福知山線列車事故を惹き起こした責任と重大性を重く受け止め、基幹事業である鉄道の安全を最重要課題とし、「JR西日本グループ中期経営計画2022（「中計2022」）」の中核をなす「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」に掲げる各施策を着実に推進してまいりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、短期間でのご利用回復は見通せず、財務面において、かつて経験したことがない極めて厳しい状況にあります。しかしながら、社会の変化を変革の契機と捉え、当社グループの存在意義、変わらぬ価値観を改めて確認し、安全性向上に取り組むとともに、雇用とサプライチェーンを守るためにも困難を乗り越え、大阪・関西万博開催といった機会も活かし、地域と共に成長し続け、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

この状況を踏まえ、中長期的な財務基盤の回復、社会変化を捉えた変革、安全と成長への道筋を示すべく、「中計2022」の見直しを行いました。

「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」という確固たる決意のもと、事故の反省と教訓を重く受け止め、被害に遭われた方々への真摯な対応、安全性向上の取り組み、変革の推進という「経営の3本柱」を今後も経営の最重要課題として取り組んでまいります。

当社グループは引き続き、鉄道の安全確保及びお客様と社員の新型コロナウイルス感染防止対策の着実な実施を前提としつつ、徹底した経費節減と設備投資の抑制によりキャッシュアウトの縮減を行います。

さらに、中長期的な課題として、インフラ企業としての責務を果たし、価値を提供し続けていくために、構造改革によるキャッシュフロー創出力の回復と施策の重点化による財務基盤の回復により、経営を強靱化するとともに、予測困難な未来への変化対応力を向上させ、将来的な企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様への還元につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により赤字決算となったものの、長期安定的な株主還元を重視する方針も踏まえ、当期の中間配当を1株当たり50円とさせていただきます。また、年間配当については、中間配当を含め、1株当たり100円とする予定です。

株主の皆様におかれましては、当社グループの置かれた状況をご理解いただきますとともに、引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長 長谷川 一明

2020年12月

事業の経過及び成果

①全般の状況

<p>営業収益</p> <p>3,899 億円</p> <p>前年同期 7,620億円 (48.8%減)</p>	<p>経常利益</p> <p>△1,543 億円</p> <p>前年同期 1,216億円</p>	<p>親会社株主に帰属する四半期純利益</p> <p>△1,281 億円</p> <p>前年同期 804億円</p>
---	---	---

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、わが国をはじめ世界における社会経済活動全般が大きな影響を受けました。当社グループの事業についても、緊急事態宣言以降、観光のご利用減、出張の抑制等の出控えや消費の減退等、非常に厳しい状況下におかれました。

足元では、緩やかな回復傾向が見られるものの、短期間でのご利用回復は見通せず、会社発足以来、財務面において最大の危機であると認識しています。

このような状況下において、当社グループとしては、「社会インフラ企業としての使命を守る」「お客様、社員の安全を守る」「社員の雇用を守る」「サプライチェーンを守る」の4つを基本方針として対応しています。

当第2四半期連結累計期間においては、上記の通り、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業収益は前年同期比48.8%減の3,899億円、営業損失は1,447億円、経常損失は1,543億円、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純損失は1,281億円となりました。

このような極めて厳しい状況に鑑み、鉄道の安全確保及びお客様と社員の新型コロナウイルス感染防止対策の着実な実施を前提としつつ、徹底した経費節減と設備投資の抑制によりキャッシュアウトの縮減を行っています。

引き続き、お客様に安全に、安心してご利用いただくための取り組みをグループ全体で推進するとともに、新たなお客様ニーズを踏まえた価値の提供等によるご利用促進や新たな需要創出を図っていきます。

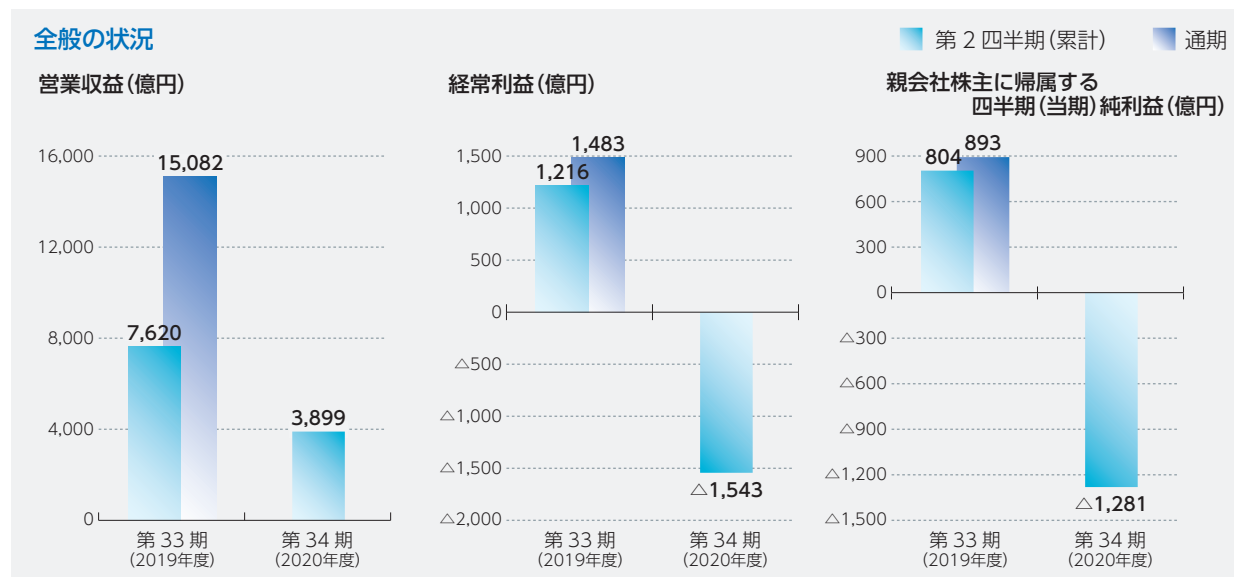
また、これらの状況を踏まえ、中長期的な財務基盤の回復、社会変化を捉えた変革、安全と成長への道筋を示すべく、「JR西日本グループ中期経営計画2022」の見直しを行いました。

「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」という確固たる決意のもと、事故の反省と教訓を重く受け止め、被害に遭われた方々への真摯な対応、安全性向上の取り組み、変革の推進という

「経営の3本柱」を今後も経営の最重要課題として取り組んでいきます。

一方で、変化の予測が難しい社会においても、暮らしを支える企業グループとして、「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」という「めざす未来」の実現に向けて地域と共に歩み続けていきます。

さらに、中長期的な課題として、今後の鉄道や創造事業のご利用が構造的に変化することも踏まえ、構造改革によるキャッシュフロー創出力の回復と施策の重点化による財務基盤の回復により経営を強靱化するとともに、予測困難な未来への変化対応力を向上させ、将来的な企業価値向上に努めていきます。



②セグメント別の状況

運輸業

営業収益 2,102 億円
(前年同期比 57.2%減)

営業利益 △1,387 億円
(前年同期 1,031億円)

当社は、2005年4月25日に福知山線列車事故を発生させたことを踏まえ、引き続き被害に遭われた方々への真摯な対応、安全性向上への弛まぬ努力を積み重ねるとともに、このような重大な事故を二度と発生させないとの決意のもと、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」（以下、「安全考動計画2022」）を策定し、ハード、ソフト両面から安全性向上の取り組みや安全マネジメントの仕組みづくりを進めました。

新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況下においても、最重要課題である鉄道の安全については、「安全考動計画2022」を着実に推進し、より高いレベルの安全をめざしてまいります。

ホームの安全対策として、山陽新幹線の主要駅及び在来線のご利用の多い駅等におけるホーム柵の整備等を引き続き進めました。

また、激甚化する自然災害への対策として、引き続き、斜面防災対策をはじめとした豪雨対策や山陽新幹線における逸脱防止ガードの整備、建物、高架橋等の耐震補強等の地震対策等を進めました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、お客様の安全を最優先に、より安心してご利用いただくための様々な取り組みを行っています。

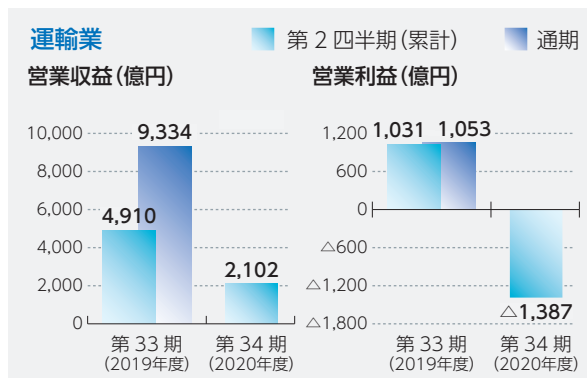
(新型コロナウイルス感染症への主な具体的取り組み)

- ・ 主な駅及び車両の入念な清掃の実施
- ・ 在来線全車両への抗ウイルス・抗菌加工の実施（京阪神エリアは完了）
- ・ 列車内換気に関するご案内及び窓開けの実施
- ・ 新幹線全駅、はるか停車駅、乗降10万人以上の駅におけるお客様用消毒用アルコールの設置
- ・ JR各社と日本民営鉄道協会等で構成される鉄道連絡会のガイドラインに沿った感染防止策の実施と継続した時差出勤・テレワーク・可能な限りのマスク着用への協力依頼等に関する車内放送や駅構内放送の実施及び駅・車内へのポスターの掲出
- ・ 主な線区・区間の列車及び主な駅の時間帯別の混雑状況のホームページ等での告知
- ・ インターネット列車予約サービスやみどりの券売機におけるシートマップ機能のご利用促進
- ・ 「期間限定 定期券併用チケットレス特急券」の発売（6～9月）
- ・ 新幹線や在来線特急列車の一部運休等の実施
- ・ 社員の感染予防策、体調管理の徹底
- ・ 社員の一時帰休の実施

今後も安全・安心に十分留意しつつ、政府等の方針、社会情勢、お客様のご利用状況等を見極めながら、各エリアの状況に応じた需要回復策を段階的に講じていくとともに、個人旅行、若年層等の属性や移動目的に対応した施策を実施していきます。さらに、行動様式やお客様の意識の変化を捉え、ビジネス、旅行等、様々なニーズに応じた新たな施策を展開していきます。

(需要回復に向けての主な具体的取り組み)

- ・「WEST EXPRESS 銀河」運転開始 (9月)
- ・「どこでもドアきっぷ」発売開始 (9月)
- ・「山陽新幹線直前割50」や北陸新幹線での「eチケット早特21/14」等の割引きっぷの発売
- ・せとうちエリアにおける「グランピング事業実証実験」の開始 (9月)
- ・MaaSアプリ「WESTER」「setowa」のリリース (9月)



これらの取り組みを行いました。新型コロナウイルス感染症による大きな影響を受け、運輸業セグメントの営業収益は前年同期比57.2%減の2,102億円、営業損失は1,387億円となりました。

流通業

営業収益 613 億円
(前年同期比 47.4%減)

営業利益 △99 億円
(前年同期 31億円)

流通業については、各業界団体において作成されたガイドライン（以下、「ガイドライン」）を踏まえ、感染症対策を十分に実施し、安心してご利用いただけるように努めています。

7月には、デジタル活用の推進を図る取り組みの一環として、当社グループの商業施設・飲食店にモバイルオーダープラットフォーム「O:der（オーダー）」の導入を開始しました。

流通業セグメントに区分される宿泊特化型ホテルについては、6月に「ヴィアイン広島新幹線口」を開業し、「ヴィアイン下関」のリニューアルを実施しました。

しかしながら、休業期間が長期に及んだこと等により、流通業セグメントの営業収益は前年同期比47.4%減の613億円、営業損失は99億円となりました。

不動産業

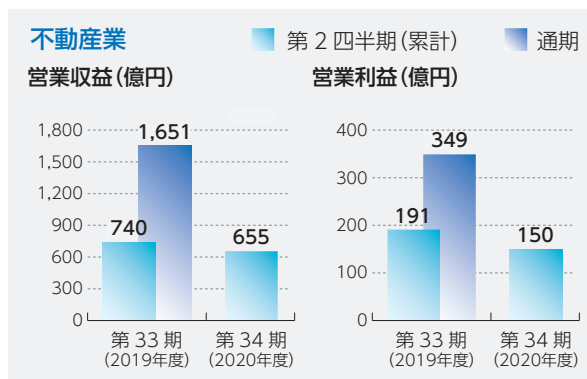
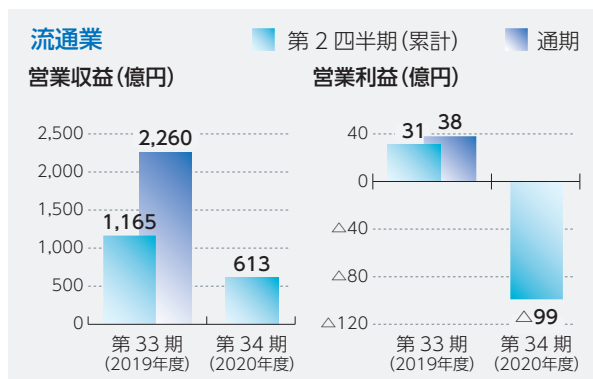
営業収益 655 億円
(前年同期比 11.5%減)

営業利益 150 億円
(前年同期比 21.4%減)

不動産業についても、流通業と同様に、「ガイドライン」を踏まえ、感染症対策を十分に実施し、安心してご利用いただけるように努めています。

ショッピングセンターでは、6月に「金沢百番街」の一部エリアにおけるリニューアル開業を実施したほか、9月には「さんすて岡山」のリニューアルが完了しました。さらに、9月にアウトドア用品の専門店10店舗を集めた「LUCUA OUTDOOR from ALBI」をルクア大阪にオープンしました。

不動産業セグメントでは、不動産販売等は好調でしたが、ショッピングセンターにおける新型コロナウイルス感染症の影響により、営業収益は前年同期比11.5%減の655億円、営業利益は同21.4%減の150億円となりました。



その他

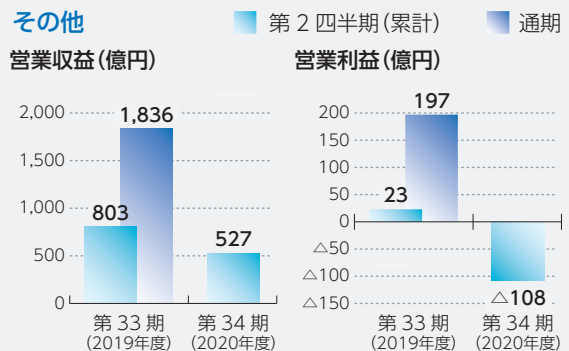
営業収益 **527** 億円
(前年同期比 34.3%減)

営業利益 **△108** 億円
(前年同期 23億円)

ホテル業及び旅行業についても、「ガイドライン」を踏まえ、感染症対策を十分に実施し、安心してご利用いただけるように努めています。

4～6月には移動の自粛が呼びかけられるなど、需要が大幅に減少しましたが、「Go Toトラベルキャンペーン」等も活用し、ご利用の回復に努めていきます。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、その他セグメントの営業収益は前年同期比34.3%減の527億円、営業損失は108億円となりました。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(2020年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間
(資産の部)	
流動資産	597,640
固定資産	2,907,339
有形固定資産	2,532,233
無形固定資産	34,992
投資その他の資産	340,112
資産合計	3,504,979
(負債の部)	
流動負債	550,536
支払手形及び買掛金	42,088
短期借入金	19,083
コマーシャル・ペーパー	70,000
1年内償還予定の社債	20,000
1年内返済予定の長期借入金	21,209
鉄道施設購入未払金	1,489
未払金	88,681
未払消費税等	3,763
未払法人税等	16,151
前受運賃	33,382
前受金	63,734
賞与引当金	25,319
災害損失引当金	4,743
ポイント引当金	2,594
その他	138,292
固定負債	1,881,691
社債	799,987
長期借入金	559,111
鉄道施設購入長期未払金	100,404
繰延税金負債	1,612
新幹線鉄道大規模改修引当金	18,750
環境安全対策引当金	8,241
線区整理損失引当金	8,882
未引換商品券等引当金	2,285
退職給付に係る負債	242,208
その他	140,205
負債合計	2,432,228
(純資産の部)	
株主資本	967,455
その他の包括利益累計額	2,247
非支配株主持分	103,048
純資産合計	1,072,751
負債・純資産合計	3,504,979

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(2020年4月1日から2020年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
営業収益	389,971
営業費	534,703
運輸業等営業費及び売上原価	453,470
販売費及び一般管理費	81,232
営業損失	144,731
営業外収益	3,526
受取利息	15
受取配当金	442
受託工事事務費戻入	114
持分法による投資利益	1,453
その他	1,499
営業外費用	13,097
支払利息	9,968
その他	3,129
経常損失	154,302
特別利益	7,592
工事負担金等受入額	3,719
雇用調整助成金	3,062
その他	811
特別損失	16,650
工事負担金等圧縮額	3,390
新型コロナ関連損失	11,642
その他	1,617
税金等調整前四半期純損失	163,360
法人税、住民税及び事業税	4,703
法人税等調整額	△38,238
四半期純損失	129,826
非支配株主に帰属する四半期純損失	1,711
親会社株主に帰属する四半期純損失	128,115

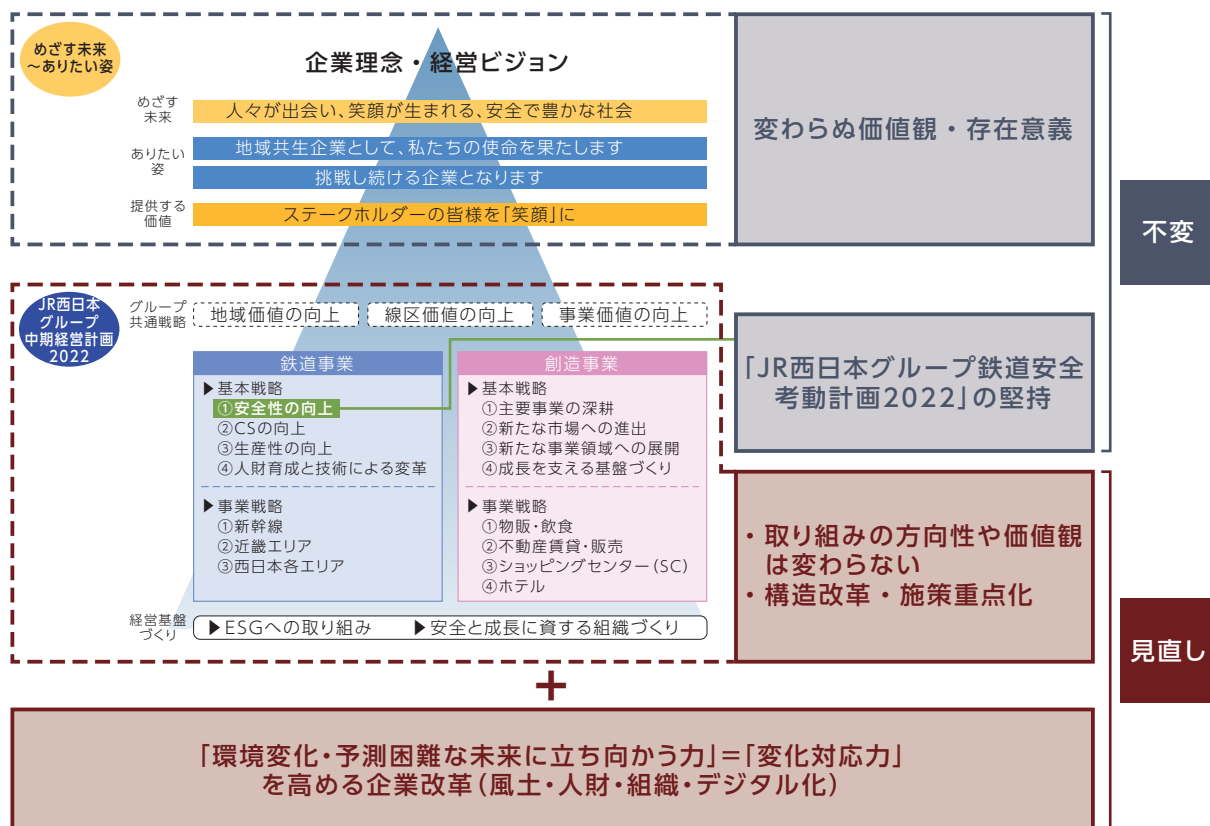
(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「JR西日本グループ中期経営計画2022」

新型コロナウイルス感染症の拡大による経営への影響や社会の変化を踏まえ、「JR西日本グループ中期経営計画2022」の見直しを行いました。今後の社会の変化にも対応しながら、お客様に安全に、安心してご利用いただくための取り組みをグループ全体で推進するとともに、新たなお客様ニーズを踏まえた価値の提供等によるご利用促進や新たな需要創出を図っていくことをめざして、取り組んでまいります。

「JR西日本グループ中期経営計画2022」見直しの方向性

■JR西日本グループの戦略の体系



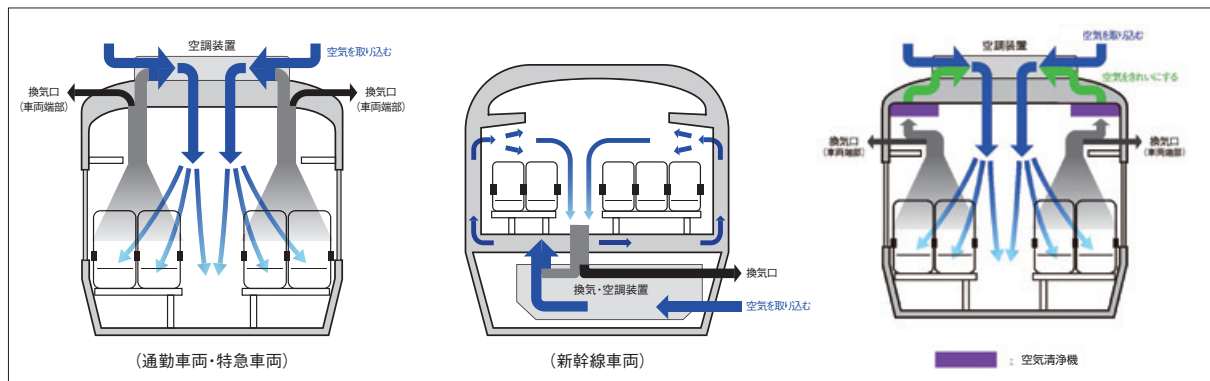
○「JR西日本グループ中期経営計画2022」の詳細については、当社ホームページをご参照ください。
 当社HP（「企業・IR・採用」ページ）[\(https://www.westjr.co.jp/company/info/plan/\)](https://www.westjr.co.jp/company/info/plan/)

当社の新型コロナウイルス 感染予防の取り組みについて

1. 車内の感染予防対策

【換気】

- 通勤車両（一部除く）、特急車両及び新幹線車両は、車両に設置している換気装置や空調装置を通じ、常に換気を行っています。新幹線は、概ね6～8分程度で車内の空気が外の空気と入れ替わります。通勤車両（※）、特急車両は、季節や車両形式によって変動します。
 - ※通勤車両では、窓の開放やドアの開閉によっても空気を入れ換えることができます。
- 特急車両に空気清浄機（※）を順次、搭載しています。
 - ※光触媒と紫外線の組み合わせを用いています。
 - ※脱臭、除菌、ウイルス抑制、VOC（揮発性有機化合物）除去に優れた効果が確認されています。
- 空気清浄機を搭載した車両には右のピクトグラムを貼りつけています。



車両の換気の仕組み

【消毒】

- 車内の手すりや吊り革を定期的に消毒しています。

【抗ウイルス・抗菌】

- ウイルスの繁殖を長期間抑制できる抗ウイルス・抗菌材（※）の噴霧により、車内の抗菌加工を施してまいります。
 - ※インフルエンザウイルス（H3N2）、ネコカリシウイルス（ノロウイルス代替）への効果が確認されています。
 - ※抗ウイルス・抗菌材は天然由来の物質で構成されており、薬品等の人工的に生成した化学物質は使用していません。



2. 駅の感染予防対策

【換気】

- 待合室では、換気装置やドア・窓の開放により、外の空気と入れ換えを行っています。

【消毒】

- 階段やエスカレーターの手すり等の丁寧な清掃に努め、消毒も可能な限り実施しています。新幹線駅や在来線の主要駅に消毒液を設置しています。

【抗ウイルス・抗菌】

- 駅の自動券売機・自動精算機等に抗ウイルス・抗菌材の噴霧加工を施してまいります。
- 駅のエレベーターボタンに抗ウイルス・抗菌材の噴霧加工や抗ウイルス・抗菌性能を有したシート（※）を貼付してまいります。
 - ※菌の増殖及びウイルスの活性化を抑制する効果が確認されています。
- 抗菌加工したボタン付近に右のピクトグラムを貼りつけています。



【飛沫感染防止】

- 改札やみどりの窓口にビニールカーテン等の設置を進めています。
- みどりの窓口では、間隔を開けてお並びいただくよう、足元待機位置の表示等によりご案内しています。



3. 時間帯別の混雑状況をお知らせ（列車・駅）

主な線区・区間の列車の時間帯別の混雑状況及び主な駅のご利用状況（京阪神エリア、岡山、広島）を当社ホームページ等でお知らせしています。

4. 指定席購入時の座席選択

インターネット列車予約サービス（e5489、EX予約）やみどりの券売機では、シートマップ機能によりお客様に座席をお選びいただけるサービスを提供しています。

新型コロナウイルス感染予防の取り組みについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。
https://www.westjr.co.jp/info/corona_taisaku.html

せとうち広島デスティネーション キャンペーン開催中!

せとうち広島デスティネーションキャンペーン推進協議会とJRグループでは、2020年10月から12月まで「せとうち広島デスティネーションキャンペーン」(以下、「せとうち広島DC」)を開催しています。

ぜひこの機会に、まだ見ぬ絶景、知られざる歴史・文化、初めて食べる美味しいグルメ、新たな体験など、未知なる魅力に溢れるせとうち広島エリアへおでかけください。

○観光列車「etSETOra」



広島県西部のメイン観光地宮島の玄関口である宮島口駅と東部のメイン観光地であるしまなみ海道の玄関口尾道駅を結び、せとうちの多島美や広島への食の魅力を堪能できる新たな観光列車「etSETOra」が10月3日(土)にデビューしました。往路と復路でお楽しみいただける景色や食事の内容が変わります。ぜひどちらにもご乗車いただき、せとうち広島の魅力を体験してみてください。

2021年3月29日までの、年末年始を除く、金・土・日・月曜日と祝日に運転します。

2021年4月以降の運転日については決まり次第当社ホームページ等でお知らせします。

※乗車券のほかに普通列車指定席グリーン券が必要です。(全席指定席)
※乗車日の1ヶ月前の10:00から、全国のJRの主なみどりの窓口・主な旅行会社でお求めいただけます。



車内イメージ(1号車)



バーカウンターイメージ



往路で提供するスイーツ(和・洋)
※乗車日の3日前までに要事前予約(右記HP参照)

○観光型高速クルーザー 「SEA SPICA」



JR西日本グループと瀬戸内海汽船グループが導入する新しい観光型高速クルーザー「SEA SPICA」が運航を開始しました。

船内の1階キャビンではラウンジのようなソファでくつろぎながら、2階屋外デッキ「スピカテラス」ではせとうちの風を感じながら、瀬戸内海の多島美をお楽しみいただけます。

また、途中で立ち寄るせとうちの島々の魅力もあわせて楽しめることも、「SEA SPICA」の特徴です。

12月14日までの金・土・日・月曜日に「瀬戸内しまたびライン」(広島港～三原港)を1日1往復します。

12月15日以降の運航日については決まり次第当社ホームページ等でお知らせします。

※料金は購入方法により異なります。主な旅行会社や瀬戸内海汽船トラベルサービスのホームページ、せとうち観光アプリ「setowa」等でお求めいただけます。



●運行ルート



etSETOra
往路 (広島～尾道・呉線経由) / 復路 (尾道～宮島口・山陽本線経由)
SEA SPICA
東向き (広島港→三原港) / 西向き (三原港→広島港)

せとうち広島DCについて、詳しい情報は「JRおでかけネット」の特設ページをご覧ください。

https://www.jr-odekake.net/navi/setouchi_dc/

JRおでかけネット

検索

配当金のお受け取りは、 便利な口座振込をご活用ください!

配当金領収証を郵便局等にご持参いただき現金を受け取る方法以外にも、銀行等や証券会社の口座への振込により、迅速かつ安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。次回以降、配当金のお受け取りは、受け取り忘れの恐れがない便利な口座振込をぜひご利用ください。

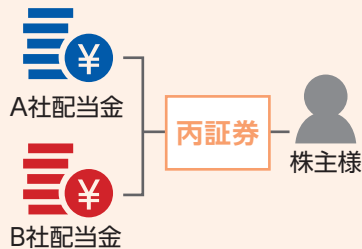
なお、お受け取り方法の変更をご希望される場合は、**口座を開設されている証券会社等**にお問合わせください。

! ご注意 お支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができなくなりますので、お受け取り漏れのない口座振込をぜひご利用ください。

口座振込には下記の3つの方法をお選びいただけます。

株式数比例配分方式

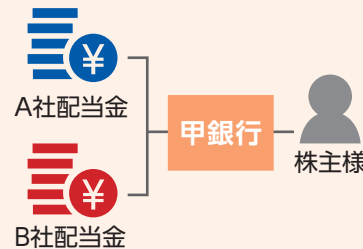
ご所有のすべての株式等の配当金を**証券会社の口座**で受領



少額投資非課税口座(NISA口座)にて、配当金の非課税適用を受けるには本方式をお選びいただく必要があります。

登録配当金受領口座方式

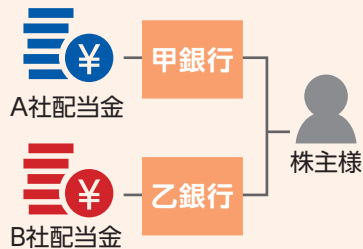
ご所有のすべての株式等の配当金を**ご指定の一つの銀行等の預金口座**で受領



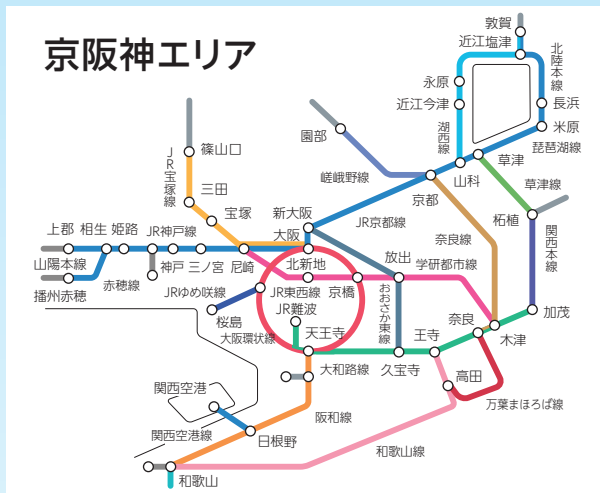
振込先口座に「ゆうちょ銀行」の口座をご指定いただくことはできません。

個別銘柄指定方式

ご所有の**銘柄ごとに指定した銀行等の預金口座**で受領



JR 西日本営業エリアマップ (2020年9月30日現在)



- 新幹線
- 在来線
- - - 他JR線(新幹線)
- 他JR線(在来線)
- 会社境界駅(当社の駅)
- 会社境界駅(JR他社の駅)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
(ホームページURL)	https://www.westjr.co.jp/company/ir/koukoku/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

※表紙の写真は、山陰本線来待駅～玉造温泉駅間を走行する
WEST EXPRESS 銀河



株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について

株式に関するお手続き(届出住所、姓名等の変更、配当金の振込方法、振込先の変更、単元未満株式の買取・売渡請求等)のご照会及びお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、以下のいずれかの窓口にご連絡ください。
(証券会社で口座開設されている株主様)
当該証券会社にご連絡ください。
(証券会社で口座を開設されていない株主様)
三井住友信託銀行にご連絡ください。(下記もご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の施行日(2009年1月5日)前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されていなかった株主様のご所有株式は、三井住友信託銀行に開設された口座(特別口座)に記録されております。特別口座の詳細につきましては、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問合わせください。

マイナンバー制度のご案内について

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主様のマイナンバーが必要となりますので、口座のある証券会社にお届出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問合わせください。



※この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。